

『連携事業理科実験』（長崎県立大学）

数理探究科 2 年

数理探究科 2 年は、9 月 1 6 日（水）長崎県立大学（シーボルト校）にて連携事業理科実験を行いました。目的は、大学レベルの実習・実験を体験することで、実験スキルの向上と科学的興味・関心を高め進路選択の幅を広げることにあります。バスで県立大学に到着後、1 3：0 0～1 7：0 0までの4 時間、実習・実験を行いました。テーマは、「ラットの解剖と臓器からの DNA の抽出」「発酵食品の醸造に関与している微生物の観察」の 2 本で、2 グループに分かれての実施でした。看護・医療系を志望する生徒が受講した実習では、生きたラットに麻酔をかけて解剖を行い、拍動する心臓を観察するなど、命の大切さを感じる実習でした。発酵食品の実習では、発酵に関わる微生物の培養・染色・観察を行いました。こうじを用いて甘酒を作り、それを試飲して味覚も体験するなど充実の自習でした。



ラットの解剖



微生物の観察